

平成26年4月18日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部
氏 名 杉田 正明

活動テーマ	第18回ジュニアアスリートフェスティバル ～小学生の「走る」「跳ぶ」「投げる」機会の創出～
実施期間	平成25年11月16日（準備）～ 平成25年11月17日
活動内容	本事業は、地域への貢献事業として、本学陸上競技部が中心となって、小学生を対象としたレクリエーションや「走る」「跳ぶ」「投げる」の三種競技のフェスティバルを本学の陸上競技場で開催するものであり、本年度で18回目を迎え、県内では晩秋の風物詩となってきた。 第18回ジュニア・アスリート・フェスティバルを三重大学陸上競技場で以下のような内容で、三重大学陸上競技部と津陸上競技協会が共催のかたちで実施した。学生達は小学生の低学年、高学年を対象とするプログラムを企画し実施するため、数ヶ月前から当日まで様々な準備（手作りのプログラム、製作物など）をして参加の小学生達を迎えている。 【当日の内容】 ・ 午前の部：低学年対象のレクリエーション 昨年度と同様に雨天のため、第二体育館で走る・跳ぶ・投げる、のレクリエーション（その後、天候が回復したため陸上競技場で実施） ・ 午後の部：三種混成競技記録会（3,4,5,6年生対象） 3,4年生 50m、ボール投げ、走幅跳 5,6年生 100m、ボール投げ、走幅跳 ・ オープン種目：男子 50m、女子 50m（1,2年生対象） ・ 男子 1000m、女子 1000m（5,6年生対象） ・ 表彰式 過去の参加選手の中には、陸上競技の全国中学チャンピオンをはじめ様々な種目で活躍する選手が数多くみられ、こうした機会の提供が子ども達のスポーツ全般への愛好的な態度を育み、本格的な運動参画への一助となり、生涯スポーツへの第一歩となるきっかけ作りに大きく寄与しているといえる。学生達は地元の陸上協会の先生方と緊密な連携のもと、競技会開催の段取り、準備及び広報活動を一から進め、授業で学習したことを活かして企画・立案～運営までを実践できるOJTとしても貴重な機会ともなっている。本年は約200名の参加者と併せて保護者の方々の来学があり、昨年より80名増の参加がみられた。三重大学を拠点としたスポーツを通じた地域貢献を担っているといえる。このフェスティバルに参加した小学生が6年後に本学に入学し、陸上部員として運営を支え、卒業後は正規の体育教師になっている事例や、卒業して教員等になっているOB,OGも数多く運営に協力してくれており、地域におけるスポーツを通じた好循環にもつながっている。

第18回ジュニアアスリートフェスティバル ～小学生の「走る」「跳ぶ」「投げる」機会の創出～



午前の部：低学年対象のレクリエーション



午後の部：開会式 選手宣誓



大会本部：総務、アナウンスなど



三種混成競技：100m走



三種混成競技引率の様子



三種混成競技：ボール投げ



三種混成競技：走幅跳



オープン競技：1000m走



三種混成競技記録計測係の様子



本部テント後の記録掲示



三種混成競技 表彰式